

収蔵館ニュース

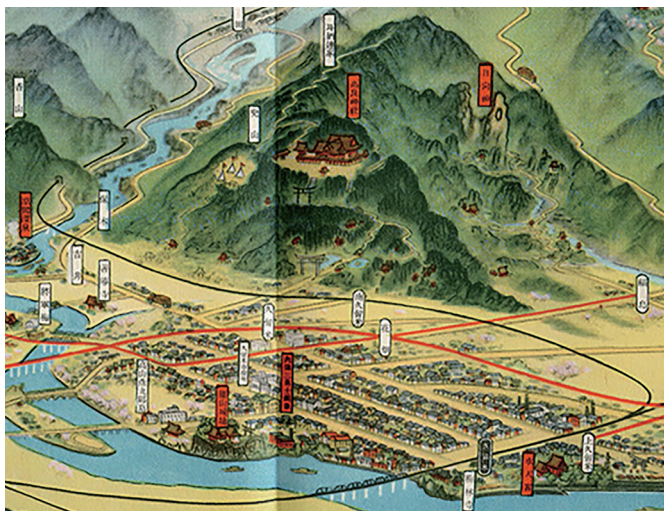
第21号
(改題通算 47号)

K U R U M E C I T Y

2025.3

● CONTENTS

- ・新収蔵資料紹介
- ・六ツ門図書館展示コーナー
- ・特別展「藍より出でて」
- ・守り、伝える
- ・活かし、伝える
- ・トピックス
「150年以上前に描かれた筑後川の治水計画
地元・北野町で初公開」



上段「福岡・久留米・大牟田三都観光図繪」

下段左「福岡・久留米・大牟田三都観光図繪」(部分・久留米市付近) 右「福岡・久留米・大牟田三都観光図繪」(表紙)

新収蔵資料紹介

拡がる鉄道で都市観光に誘う
色鮮やかなパノラマ地図

「河北家資料(第6次)」

中央に筑後一の宮高良神社を配し、その奥から手前に筑後川が弧を描き、画面右の有明海へ注ぎます。画面左には博多湾、その向こうの水平線は唐津と下関の間に引かれています。陸上には鉄道網が朱や黒の線で表され、福岡・久留米・大牟田の3都市を繋いでいます。

昭和14年(1939)7月、福岡・久留米・大牟田3市は「九鉄と緊密に結んで地方発展の一助」とするため、この観光案内リーフレットを発行しました。この月、「九鉄」こと九州鉄道株式会社(現在の西日本鉄道)の急行電車が福岡から大牟田駅まで全通したばかりでした。

鳥瞰図の作者は「大正広重」と呼ばれた吉田初三郎の高弟・前田虹映(1897〜1945)です。色鮮やかに描かれたパノラマ地図は、都市発展の高揚感を映し、人々の旅情を誘っているように感じられます。